

広報広聴協議会会議録（要旨）

日 時	令和7年6月26日(木) 午後0時12分～午後1時01分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 議場
出席会員	会 長 ささせ順子 副会長 （広報部会長） なかじま和代 （広聴部会長） 富田えいじ 会 員 伊藤真規子 大島令子 岡崎つよし おくだけんじ 川合ともゆき 木村さゆり 田崎あきひさ にしだ亮太 野村 弘 水野勝康 山田けんたろう わたなべさつ子
欠席会員	な し
職務のため出席した者の職氏名	議 長 山田かずひこ 事務局長 門前 健 議事課長 正林直己 議事係長 村瀬紗綾香

1 あいさつ 会長

2 議題

(1) 広報部会より

- ・委員会委員長の視察報告の扱いについて

（広報部会長）広報部会では、委員長がまとめた委員会の視察報告について、市議会ホームページに掲載することで意見がまとまった。この場で同意が得られたら進めていきたい。

（大島会員）ホームページへの掲載はいつからと考えているか。また、掲載する内容について、委員から委員長へ提出される視察報告には大きくばらつきがあり、委員長はどのくらいの内容をどのようにまとめればよいのか。

（広報部会長）各委員の視察報告には、内容のばらつきや視察先に配慮が必要な事柄が含まれる場合もあり、率直な意見を報告に記載しづらくなる恐れもあるため、全ての委員の報告を掲載するのではなく、全員打合せ会で委員長が議員向けに報告しているような内容で掲載することを想定している。

（大島会員）近年は予算が限られていることもあり、先進地視察というよりは、各地で実施されている事業を学んで本市の現状を再確認するような視察が多い。

視察先で何を聞いてきたかだけでなく、その後の考察についても、ある程度は報告内容に含める必要はあるのではないかと思うが、広報部会ではどのような意見があったか。

(広報部会長) 現状、委員長には「ぎかいたいむ」の掲載記事として視察報告の原稿作成を依頼しており、同様の内容であればさらなる負担にはならないと考えている。写真の掲載も必須ではなく、誰とどこに行ったかが確認できればよい。

「ぎかいたいむ」に掲載するからよいというわけではなく、ホームページでも一覧で確認できるようにすることが大事だと思う。

(大島会員) 「ぎかいたいむ」の原稿相当ということは、600 字程度でよいか。文字数の他にも視察先や視察のテーマなど、ある程度掲載する項目を決めておく必要はないのか。

(広報部会長) 5 月 23 日の広報部会では、A 4 の用紙 1 枚程度に、「ぎかいたいむ」の掲載記事や全員打合せ会での報告と同じような内容を記載していただくということでした。

(大島会員) 実際のところ何文字くらいになるのか。

(広報部会長) 今回はフォーマットの提案はしていないが、実際に掲載する際は文字のフォントがバラバラだと美しくないなので、統一したものを示したいと考えている。視察先や委員会名、視察のテーマなどを除き、内容の部分だけで 600 字程度の想定である。

(大島会員) この場で急に提案されても判断できない。

(広報部会長) これまで全員打合せ会で 2 回ほど、本日の協議会で諮っていた項目としてお知らせしており、desknet'sNEO 電子会議室の「部会の作業内容（おぼえ）」でも、広報部会での話し合いの結果は共有している。

(木村会員) 現委員長の意見を聞いてはどうか。

(伊藤会員（総務くらし建設委員長）)

委員長の仕事として決定すれば、そのように対応する。

(川合会員（教育福祉委員長）)

総務くらし建設委員長と同様、委員長の仕事として決定すればそのように対応するが、ホームページに掲載することも念頭に置いた報告にしなければならない。全委員の報告をまとめて今までよりきちんとした形で作成するのか、委員長本人の意見を入れてもよいのかなど、どのような想定をしているか。

(広報部会長) 委員長が全員打合せ会で議員向けに報告している内容は、委員から委員長あてに出された報告を読んだ上で、委員会としての学びをまとめたものであり、委員長個人の意見を報告しているわけではないと認識している。私は、委員から委員長あての報告の総括と、委員長の報告が厳密に同じでなければならないとは思っていないが、考え方は委員長それぞれだと思う。

(伊藤会員（総務くらし建設委員長）)

例えば、視察先で学んだ事業等について本市での実施は困難だと考えた場合、学んだ内容を事実として記載し、その事業等の長所など他委員からの意見を混ぜつつ、本市での実施は困難であることをそれとなく書けばよいという認識か。

(広報部会長)「ぎかいたいむ」の記事と同じだと思う。本市でも取り組みたい内容ならそのような書きぶりになるだろうし、視察先と本市とで状況が違って同じようには取り組めないのに、無理に「取り組む」と書いた委員長は今までもいなかった。

本来は、委員会として視察に行くので、帰途の間に委員同士で意見交換をし、意見がまとめられれば市民に共有できると思う。ただ今回はそれを強制するものではなく、学んだ内容を事実として記載していただければよい。

(木村会員)委員長は仕事が多いので、負担を増やさないためにも「ぎかいたいむ」に掲載する記事の内容を、そのままホームページにも掲載するということでは駄目なのか。

(広報部会長)「ぎかいたいむ」への掲載内容と全員打合せ会での報告内容が違うので、各委員長にとってどの内容にするのが一番負担にならないのかが分からない。負担を増やしたいわけではないし、内容を指示するものでもない。

(大島会員)ホームページには、委員長の名前で掲載するのか。

(広報部会長)委員長からの報告という形で出していただき、視察に参加した委員名や視察先も一緒に記載していただきたい。

(大島会員)市政に対する考え方は議員それぞれであり、議員本人の思いの丈を述べる一般質問と違って、視察での学びの結果を一つにまとめるには、委員全員が納得する内容となるように協力する必要があるが、できるのか。

(富田会員)委員長の負担を考えるなら、木村会員の意見のように「ぎかいたいむ」に掲載する記事の内容をそのままホームページに掲載すればよいと思う。自分が委員長を務めたときは、学びの結果を一つにまとめるというよりは、様々な意見があったことを報告していたので、大島会員の意見ほどの負担はないと思う。

(協議会長)委員長からの報告をホームページに上げる作業は誰が行うか。また、今後の視察報告はホームページ上にずっと残っていくのか。

(広報部会長)ホームページ更新の作業自体は、議員は触ることができないため事務局が行うことになる。

いつどこに行ったという事実が市民に分かるような形で、「ぎかいたいむ」に掲載するかしないかに関わらず議会運営委員会も含めた委員会視察について、実績をずっと積み上げていく考えである。

(大島会員)掲載の内容などの具体的なことや他の会員の意見を今日初めて聞いたので、決定は次回9月に行う協議会でもよいのではないか。今年度の委員会視察はいつの予定か。

(伊藤会員(総務くらし建設委員長))

現在のところは、10月21日あたりを予定している。

(川合会員(教育福祉委員長))

9月末から10月上旬で考えている。

(協議会長)「ぎかいたいむ」の記事と同じ内容でもよいという話だが、広報部会でその

ような方針になったということによいか。

(広報部会長) 5月23日の広報部会で、ホームページへ掲載する方針で意見がまとまったため、今回の協議会に諮っている。協議会員の半分に当たる7人でまとめた意見である。

(大島会員) 同じ会派の広報部会員と、部会での決定事項について話ができていなかったのもイメージができなかった。反対というわけではないが、掲載すると決めたらずっと継続していくことになるので、もう一度会派で検討したい。

(広報部会長) 報告書をイメージできるようなものが必要なら用意する。次回の広報広聴協議会は9月24日の予定であり、その時に改めて諮るということによいか。

(おくだ会員) 広報部会でまとめた方針とのことだが、「開かれた議会」として、視察で何を学んできたかをしっかりと市民に伝えることが大前提という認識で良いか。その上で、どのくらいの期間ホームページ上に掲載するのか、掲載の方法はPDF化した文書を添付する形か、または直接ホームページに記載する形かなど、決めるべきことは結構あると思う。また、例えば視察に行った後、その視察先の自治体の取組に対して何らかのトラブルが起こった場合、委員からの希望で視察先やテーマを決めたのに、委員長名で報告を掲載することによって委員長だけがリスクを負うような状況はよくない。検討が必要である。

(広報部会長) 広報部会では、「ぎかいたいむ」の編集作業を行う部会の中で、検討事項の話し合いもしている。先ほど、広報部会でまとめた方針を初めて聞いたという意見があったが、広報部会には各会派から部会員が出席しているし、desknet'sNEO 電子会議室でも共有し、全員打合せ会でもお知らせをするようにしている。次回、7月7日と11日に広報部会を行うため、そのタイミングまでにしっかりと会派で話し合っただけ意見をもとめておいてほしい。会派に属さない会員にもお願いしたい。

ホームページへの掲載期間については、事務局への確認が必要だが、市議会の記録として一度ホームページに上げたものは消えないと思う。本会議・委員会の録画配信は5年間だが、それ以外は消さないというルールを作った記憶がある。

(おくだ会員) 消えないならそれでもよいが、視察のテーマや結果について委員長本人が是と考えているとは限らないので、検索したときに委員長名で上がってこないようにするなど、長期的なリスクも考えた方がよい。全てを公開することだけがよいことではない。

(広報部会長) 私は、情報発信の透明性の点から報告者名を明記する方がよいと思うが、報告がセンシティブな内容だったりしたときに、後々「委員長」としての発信ではなく議員個人の意見として捉えられる懸念があるということによいか。

(おくだ会員) そうではない。視察先の決定は、委員長個人ではなく委員の意見を集約した結果であり、視察先で学んだ事業等について委員長自身はあまり前向きに思えなかったとしても、批判的な報告はなかなか書きづらいものである。

その中で、後にその事業等で何らかのトラブルが起こった場合、委員長だけが影響を受けるケースも考えられ、フェアでないということである。

(広報部会長)「視察先は委員会で決定した」「視察報告は、委員から提出を受けたものを委員長名で発信しており、個人の意見ではない」というような但し書きが必要と考えるなら、委員長が自己責任で足していただくのがよいと思う。

「ぎかいたいむ」の記事は誰が執筆者か分からないような状態で掲載しており、同じようにホームページも執筆者を記載しないという選択肢もある。

その点も含めて広報部会で検討することによいか。

(おくだ会員) 大事な税金を使って視察に行かせていただいているので、情報を公開すること自体には賛成である。委員長を務める議員だけが被害を被ることのないような対策を取った上で、決定するのがよいと思っている。

(大島会員) 誰が委員長になっても負担なくできることから始めるとよいと思う。

(協議会長) 次回の協議会で、改めて諮ることとする。

・協議中の経過報告について

(広報部会長) 広報部会で協議中の案件が3点ある。

1点目は、請願・陳情のホームページへの公開についてである。東郷町議会では、委員会で審査したものに限り、請願・陳情の文書全文と審査結果をホームページに掲載しており、これを参考に検討を進めていく。

2点目は、市議会ホームページの運用に関する申合せが未整備であるため、段階的に整理していこうと考えている。

3点目は、議会だより編集要領について、現在の運用と変わってきているので、整理を進めていく。

各会派の意見をまとめ、7月7日の部会に臨んでほしい。

(2) 広聴部会より

・出張アンケート調査について

(広聴部会長) 今年度の出張アンケート調査については、8月23日(土)南小校区共生ステーションで行われる夏祭りを岡崎会員、木村会員と自分が担当し、8月30日(土)ピアゴパワー長久手南店の駐車場で行われる「いちサマ」をおくだ会員、にしだ会員、伊藤会員、大島会員が担当する。回答者数はそれぞれ120人程度の想定である。

3 その他

(議長) 広報広聴協議会で検討してほしいことが2点ある。

1点目は広報部会への依頼で、本会議や委員会のライブ配信画面について、昼休憩など長い休憩中の活用方法がないかということである。議会や議員の活動とか、一般質問の日程であれば質問の内容や質問者の写真など、議会に興味を持ってもらえるような内容を検討してほしい。

2点目は広聴部会への依頼で、高校生の意見を聞く取り組みである。18歳になると選挙権を持つ。3年前に実施したような子ども議会は高校生には難しいかもしれないが、議会の仕組みや役割を学んでもらい、意見を聞く機会を検討してほしい。

(岡崎会員) 恐らく難しいと思う。実施するかしないかを検討するという認識でよいか。

(議長) そのとおりである。

(山田会員) 議長からの依頼も含めて検討事項が多いので、まとめて協議会長から発信してほしい。

(会長) 検討事項をまとめ、後日 desknet'sNEO 電子会議室で発信する。

以上で広報広聴協議会を終了する。